



亀井 洋示



No. 561 附録

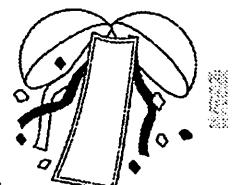
治安維持法犠牲者  
國家賠償要求同盟  
編集発行人 田中幹夫  
〒113-0034 東京都  
文京区湯島2-4-4  
平和券済センター・民労連会館  
電話 03(5842)6461  
FAX 03(5842)6462  
E-mail chian@bz03.plala.or.jp  
価値 50円

兵庫版 No.444

治安維持法犠牲者  
國家賠償要求同盟  
兵庫県本部

〒650-0022 神戸市  
中央区元町通6丁目6-12  
山本ビル 国民救援会内  
TEL(078)351-0677  
FAX(078)371-7376

# 県同盟「1050人」達成！



## 「不屈」に闘い抜こう

菅首相や政権幹部の人事が至るところで問題を引き起こしている。長男の秘書官起用に深くつながっている総務省の接待賓け、高額接待を受けた内閣広報官をかばい、行政をゆがめた疑惑隠し。夫婦別姓に反対する丸川珠代氏を男女共同参画相や五輪相に登用。以前、年越し派遣村で「本当にまじめに働くとしている人たちが集まっているのか」と言い放つた坂本哲志氏を1億総活躍や孤独・孤立対策の担当相に。今、国民がコロナ禍にあえぎ助けを求めているとき、自分の所有物のように政治を扱う政権与党。それにつき従う官僚。

コロナ危機で明らかになつた社会と政権の欠陥をただす道に進むことが切実に求められている。そのためには、「市民と野党の共闘」を発展させ、政権交代、「野党連合政権」の樹立を今度の総選挙で一氣にやりきる。そして、2021年を「歴史に刻む年」にするために、「1千人」を突破し、第39回県本部総会で決定した「1050人」を達成した県同盟が総選挙にむけて組織的・知的的力量をさらに前進させ、「不屈」に闘うことが求められている。そのために総力をあげよう。

兵庫県本部会長　岡　正信



## 「川崎三菱大争議」100年 兵庫労連二役と懇談 記念集会開催で合意

2月19日、県本部三役は、兵庫県労働組合総連合（兵庫労連）と懇談しました。兵庫労連からは、成山太志議長ほか三役が出席しました。

懇談では岡会長が「1921年の川崎・三菱大争議は、戦前でも歴史的な労働争議であり、

そのあと職場から放出された活動家たちが、労働運動、共産党、水平社、自由法曹団などに繋がり、全国各地に広がっていました。100周年に兵庫民報で連載してもらい、国賠同盟としても1920年代の治安維持法体

けている」と切り出し、「100周年を本流を引き継いでいる労連のみなさんと一緒に取り組みたい」とよびかけました。

兵庫労連からは、「100周年を改めて認識したがほとんど的人は知らない」「NHKの昭和回顧録をみんなで見たい」など、取り組みをするのべました。

そして「コロナの状況もあるが、7月を焦点に集会ができるらしい」など、取り組みをすることが話し合われました。

**署名の輪を2重3重に広げよう**

集まつた署名を、県本部に届けてください

国賠同盟中央本部は、今年の国会請願を5月14日に行うことを決めました。兵庫県からも大量の署名を国会議員に手渡し、私たちの

要求を実現できる国政への転換を促進しよう。

みんなの手元にある署名用紙を持って、家族、知り合いに訴えましょう。

**5月14日（金）国会請願行動へ**

てください。

## 県本部第39期 第7回幹事会報告

第7回常任幹事会が3月4日開催されました。2月26日に開かれた第7回幹事会で議論した「会員拡大と署名運動を柱に県同盟の組織的的力量と知的的力量を一段と高める活動」を促進する方針の具体化を話し合いました。

### 【日本の危険性と可能性】

菅政権の政治手法が独裁政治につながるとともに、社会的連帯を求め築く様々な運動を呼び起こしている情勢を正確にとらえ、「国賛同盟」の運動目標「日本をめぐる経過やジェンダー問題での歴史的事実、長田区での抵抗活動などについても紹介され、学習しました。

### 【当面する課題】

会議では、兵庫県における戦前の日本共産党神戸細胞結成をめぐる経過やジェンダー問題での歴史的事実、長田区での抵抗活動などについても紹介され、学習しました。

### 【その他、会議日程】

第7回幹事会では、会費納付困難な会員の位置づけなどについても議論しました。

第8回幹事会は、3月26日（金）午後1時30分から「平和と労働会館」で行います。

第8回常任幹事会は4月8日（木）午前10時30分から「兵庫文化クラブ」で行います。

土井直樹	中央	三役
撰梅みち子西播	大竹有利子	・撰梅忠雄
服部由香	明石	南山隆史
稻垣雅子	尼崎	藤本妙子
西村悦子	尼崎	藤本妙子
戸部なみ子西播	田中久子	
堀井説子	長田	喜田照和
木本将貴	高砂	小松美紀江
橋本銀河	長田	喜田照和
田路奈保子西播	・田中隆夫	
出田 韶		

「1920年代」「2020年代」――  
二つの時代認識論をすえて、「自力」と「不屈」をスローガンに奮闘しよう

年問題で兵庫労連と話し合いをしましたが、さらに関係団体との懇談を広げます。

「伊藤千代子の生涯」（仮題）の製作・上映運動を強めます。

5月14日に行われる国会請願

にむけ、署名運動を強化し、民商をはじめ諸団体に申し入れるとともに、再度全会員への訴えを強めます。

2月末で1050人を達成し

た会員拡大では、毎月二桁拡大、全支部成果を追求し、第40回県本部総会めざし、支部目標達成をめざします。

会員拡大では、毎月二桁拡

大、全支部成果を追求し、第40回県本部総会めざし、支部目標達成をめざします。

尼崎支部の藤本妙子さんは、昨年8月から8人に加入をお誘いし、6人を同盟に迎え入れています。藤本さんに経験を聞きました。

◇ ◇ ◇  
これまでも支部の役員会で、いつも「誰かいないか」と話し合ってきました。そんななか、昨年8月の県本部総会での築谷さんの「拡大に失敗はない」「声かけた人の心に残る」という話が胸に落ちました。

拡大にあたっては、①時間をつくりていただけで、②資料をそろえて伝えることで、日頃の出会いでお話しも、あまりひびかなかったからです。

会話のなかでお話しするのは、自分が同盟に入ったきっかけで、同盟の人たちはい

い人ばかりで地味なことをコトコツやっていること、兵庫は全国ではじめて女性の演説会が開かれたところで「兵庫つてすごいんやつて！」などです。「今会での築谷さんの

い人ばかりで地味なことをコトコツやっていること、兵庫は全国ではじめて女性の演説会が開かれたところで「兵庫つてすごいんやつて！」などです。「今会での築谷さんの

い」や「国賠ってなに？不屈つて私にはムリ」という人には、「あなたは、いっぱいでも、時代があなたを呼んでいる！」「不

やつていることで一杯いっぱい」や「国賠ってなに？不屈つて私にはムリ」という人には、「あなたは、いっぱいでも、時代があなたを呼んでいる！」「不

い人ばかりで地味なことをコトコツやっていること、兵庫は全国ではじめて女性の演説会が開かれたところで「兵庫つてすごいんやつて！」などです。「今会での築谷さんの

は「以前に署名をしたことがあり合いにもすすめたいとのこと。お貸しした「時代を生きた革命家たち」の冊子も「1日で読んだ」と、びっくりする」とばかりです。

藤本妙子さんの拡大の経験から、安やつたら、1年限定で入ったら？」「会費もすぐに無理なら分割も」と訴えています。

Aさんには、会費のことでお説きを躊躇しかけたんですけど、家に来られた時、思い切って資料を用意し加入を切り出しました。説明で私が「年会費4千円…」とつぶやくなり、スパッと5千円札を目の前に出されました。まだ申し込み用紙に

名前を書いてないのに！ それすぐに言わされたこと

は「以前に署名をしたことが

あります。お貸しした「時代を生きた革命家たち」の冊子も「1日で読んだ」と、びっくりする」とばかりです。

拡大で気をつけていることは、「いいことでも無理強いは、絶対にしない

い」「決めるのは相手なので、この人と思つたら気軽に伝えたい」とことです。

私は、国賠同盟の活動は

「根つこの活動や！」と思いま

す。「多喜一や沢山の犠牲者

がおれている」「賠償して

もらえるようでないと浮かば

れない」との思いです。

## 劇映画「伊藤千代子の生涯」の取り組みを

元劇団前進座俳優の嵐圭史さんが映画出演と協力を申し出され、竹下景子さんも出演を快諾されています。2021年秋・撮影開始、2022年春・上映開始の予定です。

※PR動画DVD問い合わせは、県本部・各支部へ、または右のQRコードからご覧いただけます。



## 「川崎二三菱大争議」100年

「兵庫民報」で連載

# 意義つかみ運動の糧に

「兵庫民報」紙上で1月から「民主主義の日本めざして—『川崎・三菱大争議』100年」の連載がすすめられています。

第一回（1月10日付）プロローグ（1）一九一〇年代一治安維持法犠牲者の闘いと抵抗の歴史の源流は神戸に——一九二一年「川崎・三菱大争議」の歴史的意義

第二回（1月17日付）プロローグ（2）二〇一二〇年代一アーティストと日本の平和と個人の尊厳を破壊した治安維持法体制の歴史に決着をつける時代に

第三回（1月24日付）第一回 第二回 大戦と大正デモクラシー

次世界大戦と大正デモクラシーを労働者、民衆が歴史の舞台に

に・自由と平等を求めて

した「神戸消費組合」「治安維持法反対の闘い」「日本共産党神戸細胞」「自由法曹団」「水平社兵庫」「尼崎での闘い」や各地の闘いが取り上げられる予定です。



## 日本最初の女性演説会 ⑫

朝倉はじめ

それは、富恵とハルは、どんな女性であつたのか。

部落問題研究所・馬原鉄男は、小見山富恵を70年代、山口県光市に訪ね聞き取り・資料・書籍などをもらつた。馬原は「小見山さんは1894年、(加古川にて)国鉄保線技師をしていた父伝次郎と母ムメの次女として生まれた。自由民権運動の余光をたたえた父と、開明的な母の影響もあり、小見山さんは、その90年の生涯をかぎりなく自由に、そして終生革命のロマンを求めながら、その波瀾に富んだ一生を送った」と雑誌『部落』に紹介している。

富恵は、父の郷里の岡警察法第5条で女は入れず、会

## 賀川ハルと小見山富恵③

新婦人協会神戸支部の設立と活動・その6

山県笠岡女学校を1912年卒

場のムシロを開けて秘かに入場。組合長の「子ども2人抱えて夜業しても食えない」という演説を聞き雄弁に話せない人の本当の雄弁を聞いたと感動。この労働運動の中に飛び込もうと考える。

この時、高野岩三郎が所長の大原社会問題研究所の読書会があり飛び入り、はじめて科学的社会主义を学ぶことができた。女の参加者は一人だけであった。学びで「夜が明けた」と思つた。運動では、棒給生活者(サラリーマン)組合ができ、島之内の問屋街を、「冬も羽織が着れない、足袋が履けない、休みが月2回、朝食はおかゆ」とい

う待遇の改善要求ビラを夜十二時頃まで働いている店員に配布する活動を行う。自らの困窮を川へ向かった。



小見山富恵

に感動し、女性差別の不当性を訴える挨拶状を送つた。この結果、主催者の大阪朝日新聞記者恩田和子が、家まで訪問。女子大出の女性の家まで連れて紹介、平塚にも会う。住友伸銅所のストライキの演説会に、治安

22年11月号「婦人運動の中心」と題し、富恵は「これまで上流婦人の性的解放運動のみであったが、今は全工業労働者の中6割は婦人、不合理な家族制度の圧迫も、賃金奴隸の屈従も…資本主義経済組織の反映であること気に気づいた女性が婦人労働問題で躍起するに至るのは必然だ。婦人の半数を占める婦人労働者が男子組合と協力し組合を起こす決心だ。」と呼びかけた。

### 機関紙『覚醒婦人』を編集し執筆も

こうして、神戸で賀川の求める本を読みあげたり、代筆などの秘書としての仕事と、覚醒婦人協会理事を担当し、賀川に代わり婦人の身の上相談などをスタートさせる。